

## 景況実感調査(2017年6月)特記事項

毎月、景況実感調査にご協力頂きましてありがとうございます。集計結果は別紙にてお送りしましたが、今月もたくさんコメントを頂きましたのでお送りします。ご査収下さい。

[お断り]毎月のコメントはあくまで個々の“生の声”です。業界全体の標準的見解とは、若干異なる場合もあります。また、不適當な表現やわかりにくい表現については書き直しております。信用問題にかかわるものも原則として掲載しておりません。

### 薄板・表面处理鋼板

- ① 需要環境は、回復への期待とは裏腹に末端市場での足取りが重く、在庫も抑え気味となっている。メーカー値上げによって仕入れ価格は上昇。ただ、荷動きが鈍いことから、鋼材市況はトーンダウン。夏場以降の実需回復に期待している。
- ② 稼働日が多かった割には良くなかった。
- ③ 稼働日は22日と、前月比2日増加に伴い、売上、数量共に増加となった。店売り市場の動きは変化なく、品薄感も若干やわらいだ感もあるが、電気メッキ品は依然としてタイト。秋口からの実需出現が待たれる。
- ④ 盆明け頃から動いてくるという声は以前から聞いているものの、半信半疑なところもある。需要がいま一つのせい、酸洗鋼板の定尺単価の値上げムードが出て来ない。今の定尺相場では赤字のため、粘り強く交渉を続けるしかない。

### 中板

- ① 前月に引き続き末端需要に変化は無く、振るわない状態が続いており、引合いも精彩を欠いて、市況も横這い状態が続いている。メーカーの追加値上げへの対応も困難が予想される。秋需が出て来るまで膠着状態が続くことを覚悟しなければならなのでないか。

### 厚板

- ① 切板の価格が、メーカー値上げ分を転稼出来ていない。
- ② 特殊鋼厚板は、メーカー値上げが4~5月となっているが、需要が伸びず切板等の再販価格になかなか乗せられない状況だ。

### 开形鋼

- ① オリンピック関連の現場が動いていない。動き出すのは来年の春ごろのようだ。
- ② 前月比2日も営業日数が多いのに、売上高が「やや減少」の結果は不本意である。しかしながら、市況が崩れないのは去年と違うところである。未だ出ぬオリンピック需要のお蔭というべきか。
- ③ 5月の連休明けから6月末まで非常に荷動きが悪い。単価も上がらず、収益も苦戦。7月以降の見積りも増えて来ているが大きく期待できない。

### 工工开形鋼

- ① 6月の倉出しは前月比プラスだったが、状況に変化はない。今月から引合いが若干増えているので、需要期に向け市況維持に努める。
- ② 大きな変化は無いが、逆に変な慣れが出て来て市況上昇に結びつかない。

## 異形棒鋼

- ① メーカーの販売姿勢は堅く、市況は横這い維持であるが、新規物件が少なく商売は引き続き苦戦。6月は在庫販売が若干回復した。

## 平鋼

- ① 荷動きは変わらず。建築需要が出てきそうな雰囲気はあるものの、足下の動きは悪い。市況は弱気ではあるが、何とか維持している。
- ② 7月前半まで通常の推移、横這い。7月後半から例年は動きが悪くなる。本年も同パターンか。

## 車量異形鋼

- ① 店売りの低調から販売価格が上がらない。メーカーの値上げが続いているので苦しい状況だ。
- ② 稼動にバラツキがある。生産計画を立てづらい状況が続く。
- ③ 販売価格は徐々に上がっているが、仕入れの上昇には程遠いレベルに止まっており、苦しい状況が続いている。動きの悪さから上げ一辺倒の姿勢を打ち出すことも難しく、競合先との睨み合いが続いている。

## 鋼管

- ① 6月後半から荷動きは低調。市況は横這いであるが、メーカー値上げに追いついておらず、7月からの価格転嫁に注力していく。

## 構造用鋼

- ① 自動車、建機は引き続き堅調。半導体関連も好調ながら、物によっては先行き不透明なものも。店売りに関しては、依然としてパツとしない。
- ② 需要動向については、自動車関連は海外向けKD部品が堅調な動きとなっており、しばらく続くと思われる。建設機械関連は中小型機種を中心に動いており、また、海外向け大型機種についても動き始めている。産業機械、工作機械関連も堅調な動きとなっている。市況は横這いで推移。市中在庫も適正水準で推移している。

## その他

### <スクラップ>

- ① 徐々に激しい価格変動もなく、安定していた。

### <金属表面処理加工>

- ① 6月は紐付き、物件物とも計画通り。スポットは中旬以降、引合いも多く見られ復調の気配を感じる。7月も物件物を中心に操業が高くなる予想。今夏も猛暑が予想され、早めの熱中症対策を実施済み。